

SHIRAKOBATO

# しらこぼ



1999. 4

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 180

日本野鳥の会 埼玉県支部

内田孝男（茨城県総和町）

鳥好きの皆さん、1月30日の東京12ch「彩の国」、見ました？ 冒頭のハイロチュウヒ♂まさにヨシ原の流星！ 双眼鏡いらない、自分がそこにいて目の前で見る、これ渡良瀬の醍醐味。

まだ古河市に住んでいた中学時代、野鳥には全く興味を持たず、時々友達数人で三国橋を渡り、遊水池に釣りをしに行った。コイ、フナ、ナマズ、ライギョ、アカメンタン（タナゴの一種）は生かして飼い、冬の真鮒は親父が素焼きにして串に刺し、寒風に晒して甘露煮を作った。釣りの帰り、土手沿いに長く連なったトロッコを1つ外し、転がしては引っ張り上げて遊んだ。今にして思えば、建設省が遊水地を変えていた時代でした。昭和30年代後半のことでした。

鳥見を始めると皆それぞれのフィールドを持つようになると思う。そこに行くのに遠い近いの違いはあるかもしれないが、幸い私は渡良瀬遊水地に近いところに住んでおり、ついぶらっと出かけてしまう。こんな話をすると、人によっては恨めしそうな目で私を見る。そんな時はやっぱり渡良瀬遊水地はスゴイのだ！ と嬉しくなる。

ここ数年、渡良瀬遊水地に入るパターンは3つあり、家を出るときに決める。

1つは、野木町のシモレン（元レンガ工場）北の道から屋敷林の鳥たちを見ながら野渡橋

方向へ。渡良瀬川が見えれば、渡るか渡らずに北上するか、一考するのも楽しい。一度だけ思川の取水口近くで子供達とバーベキューをしていた時、ヤマセミがダイブしてヤマベを捕ったのを見て、皆ではしゃいだこともある。

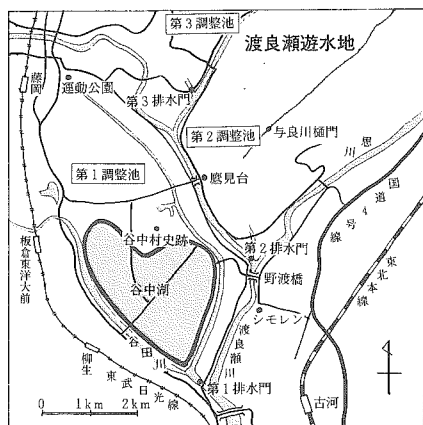
2つめは、午前中だと比較的に見やすい小山市側第2調整池与良川樋門から。土手に上がると右手下に大きな木があり、鳥が羽を休めていることが多い。ノスリ、サシバ等の猛禽類も。下に降りてもいいし、土手沿いに内外を見て、第3調整池方面に移動しても良い。

そしてもう一つが、三国橋を渡りすぐ右側の土手に上り、第1排水門脇から水鳥を見、谷田川沿いに北上。あるいはそのまま東に進み、渡良瀬川を右に見ながら北上する。

その他にも様々な入り方があるが、個人の楽しみ方次第である。春4月上旬なら、藤岡町の渡良瀬運動公園にある桜並木を愛でて、第3排水門へ。オオタカ、サシバ、トラフズクを探そう。5月なら、一気に谷中村史跡ゾーンでカッコウやコヨシキリ、ササゴイ等々。また春秋なら、沼地を中心に渡りのシギ・チを見るのも面白いし、冬なら1日のんびりと谷中湖の水鳥たち、午後なら鷹見台でワシ・タカを、そしてハイロチュウヒの塒へ。

渡良瀬遊水地は約200種の鳥が観察されており、通常でも1年を通してみると120種位は観測できるところだ。自分で好きな場所に行き、来る鳥を見る、歩いて鳥を見つける、どちらでも楽しめる。

今、鷹見台の東、第2調整池の造成は凍結状態だが、いずれ話は何等かの形で進められる。必要のない湖より「エコ・ミュージアム」を！ 飛来しなくなった鳥たちを懐かしむ前に、なんとか次の世代まで今の自然・環境を継承していかなければと頑張っている人も多い。私も自分でできることで応援していきたい。



# 1998年 埼玉県 秋のタカの渡り

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

はじめに

1998年9月27日(日)はサシバを中心とするタカの渡りの調査日でしたが、雨天のため翌週の10月4日(日)に実施されました。

調査結果

本年も県内のタカの渡りの主要ルートである丘陵地帯と低山地帯の境付近、JR八高線周辺に4ヶ所の調査地(表1)を設けました。

本調査日10月4日の前日、前々日が好天であったため、当日渡りを行った個体は少ない結果(表2、表3)となりました。

おわりに

一週間ずれた調査にもかかわらず30名近くの会員の皆様にご協力を頂き、誠にありがとうございました。

(小荷田行男)

表1 調査状況

調査地(市町村名)	調査者	調査日と調査時間	天候
丸山 960m <sup>H</sup> (横瀬町)	森本 國夫 他1名	10/4 8:30~13:10	晴
鐘撞堂山 (寄居町)	和田 康男	10/4 8:50~12:30	晴
物見山山頂 (東松山市) 鳩山町	浅見 徹 他4名	10/4 8:00~12:00	晴
天覧山 (飯能市)	佐久間博文 他19名	10/4 9:00~13:00	晴

表2 1998年秋のタカの渡り調査結果

	ハ チ ク マ	ト ビ	オ オ カ	ハ イ タ カ	ノ ス リ	サ シ バ	チ ユ ウ ヒ	ハ ヤ ブ サ	チ ゴ ハ ヤ ブ サ	タ カ S P
鐘撞堂山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
丸 山	-	-	-	-	5	3	-	-	-	2
物見山	-	1	1	-	1	2	-	1	-	1
天覧山	2	-	-	-	1	18	1	-	1	-

表3 各年のタカの渡り本調査日におけるサシバの数

年	月日	天候	金嶺 神社	鐘撞 堂山	堂平山	丸山	物見山	白金平	高指山	天覧山	堀の内	浦和 見沼
1986	10/5	晴	-	6 (9/23 31)	-	-	-	-	52	-	-	-
1987	10/4	快晴	-	4 (9/23 31)	-	-	28	- (10/3 6)	149	-	-	-
1988	10/2	曇	-	10 (10/1 150)	-	-	19	0	1	-	-	-
1989	10/1	晴	-	25 (9/23 105)	-	-	100	14	79	150	-	-
1990	10/10	快晴	1	(9/23 19)	-	-	-	-	-	2	-	-
1991	9/29	晴曇	13	34	-	-	29	-	21	151	-	-
1992	9/27	快晴	7	21	6	-	10	-	-	31	17	-
1993	9/26	快晴	-	19	45	-	3	-	-	73	0	-
1994	9/25	晴のち 曇	-	15	0	-	0 (10/2 122)	-	-	30	-	-
1995	10/1	晴	-	0	0	-	57	-	-	84	-	14
1996	9/29	晴	-	-	0 (9/22 5)	-	1	-	-	4 (9/28 238)	-	-
1997	9/28	快晴	-	3	9	10	1	-	-	30	-	-
1998	10/4	晴	-	0	-	3	2	-	-	18	-	-

注：( )内は各年における最大値とその観察日

片野鴨池探鳥会

田中幸男 (蓮田市)

探鳥旅行は、雨の朝日池(新潟)に始まり雨の河北潟に終わったが、この間、いろいろな所でいろいろな人や鳥に出会い、たくさんの思い出をもらった。天気模様とは違い、晴ればれた気持ちで帰ってきた。この思い出のいくつかを綴ってみたい。

ハクガン

片野鴨池のスコープのなかのハクガンは、真っ白な体に翼の黒い部分まではっきり見せてくれ、震えさえ感じさせてくれた。


日本海を見て

カラ類の歓迎をうけながら野鳥の森を抜け砂丘に登ると、波しぶきたつ日本海が一望、強風でスコープが倒れかかる。海を見ているうちに、重油に汚れたウミスズメを思い出した。ボランティアの手で油を落とされていたが、命尽きた鳥達も多かった。人間の不注意で海を汚し、それをきれいにしたのも人間と思うと、何かはかりしれないものを感じる。

鳥を見せてもらっていること

宿泊先での懇親会の後、石川支部の方が触倉島の珍しい鳥達のスライドを見せてくれた。触倉島での探鳥について島民の方々の理解を得るまでには、相当の年数と苦勞を要したとのことである。今でも島民に迷惑をかけないよう、気配りをされている。また、触倉の鳥達は、渡りの途中のくたびれた姿であり、その鳥本来の姿ではない。「鳥はその鳥の住む環境で見るのが一番」という言葉も印象に残った。中島支部長がよく「いつでも鳥を見せてもらっていることを忘れないで欲しい」と言われているが、触倉の話で探鳥の心がけのようなものを改めて感じた。

このほか、白山林道、ミヤマガラス、夜の鳥談義、雨の兼六園、普正寺の森等々たくさんの思い出が残った探鳥会であった。

 伊藤 貴大  
P.O. Box  
うちのね。はらり  
いてる。……

(五十嵐 貴大)

伊豆沼探鳥会

石光治美 (所沢市)

風花の舞う東北自動車道を一路宮城へ。

蕪栗沼では、マガンの群れの中にツルシギを発見。冬枯れたモノトーンの景色の中で嘴と足の赤が印象的でした。タゲリ・アオサギ・コハクチョウ・タシギ・ミコアイサ・カワアイサ等も観察。上空には、チュウヒも出現。

夕暮れの伊豆沼では、間近にオオハクチョウやオナガガモを見ながら、マガンの帰りを待ちました。やがて次々と姿を現わすマガンの群れは、さながら「月に雁」の様でした。

翌朝、日の出前に10羽20羽と小さな群で飛び立つマガンを眺めていると、ふいに、近くにいた数百羽すべてが、まるで球場のウェーブの様に次々と飛び立って行きました。ペテランの方々も「これだけの数が一斉に飛び立つのは初めて見た」と感嘆する程の迫力。ふと目を転じると、沼の面を悠然と渡って行くオジロワシが…。まだ若鳥のようでした。オジロワシは昼には、強風の中同時に3羽も現れました。陽の光に尾がキラリと白く輝いていました。初めての伊豆沼でオジロワシが、若鳥、成鳥それぞれ観察できたのは幸運でした。

クマタカ!!!

榎本みち子 (鴻巣市)

1月4日晴れ午前9時半頃、仕事始めの夫を送りだし、のんびりベランダで洗濯ものを干していたら、上空に見慣れぬ鳥影。思わず「おわっ!!!」と叫びました(心の中で)。

でかい。とにかくでかい。近景にハシボソガラスが数羽。そのはるか上を優雅に旋回しているのに、圧倒的な大きさ。

これは並の猛禽ではない。トビやノスリ等たま〜に見るお馴染みさんより、一回りも二回りも大きい感じ。加えて羽幅の豊かさ。

これはっっ、クマタカ!!!

こんな町中にクマタカとは驚き! ラッキー。さては誰かの初夢に出演した帰りだったか、クマタカさん?

## 今さら聞けない質問コーナー

Q：図書館で閲覧した『バードランドさいたま』という書籍の編集者が「財団法人埼玉県野鳥の会」となっていました。この会と私たちの「日本野鳥の会埼玉支部」とは、どのような関係なのでしょう。

(上尾市・大友慎也)

A：『しらこぼと』1995年6月号でもご説明したことがありますが、大分年月も経ちましたので、あらためてご説明しましょう。

1971年に財団法人日本野鳥の会埼玉支部というものが結成されて、それが1978年に財団法人日本野鳥の会埼玉県支部と名称変更されました。しかし、この支部は今の私たちの支部とは別のもので、「旧支部」と呼ばれることもあります。

「旧支部」が、1984年3月に組織変更して、「財団法人埼玉県野鳥の会」となったのです。ところが、この組織変更は、当時の日本野鳥の会の方針に反するもので、それを承知で「旧支部」は日本野鳥の会とは離れ、別な道を歩き始めたわけです。

取り残されて困ってしまった会員たちは、相談して、新たな「埼玉県支部」を再発足させました。それが今の私たちの埼玉県支部につながっているわけで、1984年4月設立時に164名だった会員数も、今は3,000名を超えるようになりました。

なお、「財団法人埼玉県野鳥の会」は、その後「財団法人埼玉県生態系保護協会」と名称変更して、日本野鳥の会とは全く無関係ですが、活発な活動を続けている様です。新聞紙上などで時々見かけることがあります。

(編集部・海老原)



ウソ (増尾 隆)

## 白頭鷺の英名講座 (第23回)

### バフ (Buff) 色ってどんな色?

鳥の識別に色はとても重要である。どの鳥を解説する場合でも「色」を抜きにはできない。

さて、往々にして「バフ色」という色に遭遇する。この「バフ色」が、ピンクとか、ホワイトとか、ブルーのように、すんなりと日本語の色として頭に入ってくるだろうか?

バフは英語のbuff、すなわちbuff leather (もとは水牛、のちには牛やシカなどの淡黄色の柔らかいなめし革) からきており、淡い黄色、または素肌の色。(種類によって違う?)

厳密には1788年、アメリカの独立が承認された5年後で、この年に合衆国憲法が発効したが、そのころの兵士の制服に用いられていた柔らかな軽い皮革の黄色みを帯びた茶色の通称がbuff (バフ) だったことに由来する。

ということを頭にいれておけば鳥の解説の読み方もなにか身近になろうというもの。

一例としてコシヤクシギの解説文で、「頭中央線状の部分と眉斑はバフ色。顔から頸はバフ色で」とある。「そうか、あそこはバフか。薄茶色のような、黄色味がかった色か、と納得できる。

(松井昭吾)

## はみ出し行事案内

### シギ・チドリ類県内調査

期日：4月29日 (木・祝日)

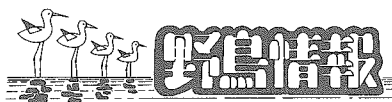
埼玉県支部では、春と秋の2回、独自にシギ・チドリ類の調査を行っています。特に下記の地点では、より多くの会員の参加・ご協力をお願いいたします。

◆秋ヶ瀬 (浦和市・大宮市)

集合：午前9時30分、大久保浄水場の北西角  
近くの土手の上、グラウンド入り口。

担当：石井 智

解散は昼頃の予定です。調査のため参加費は不要です。雨天でも行います。



幸手市倉松川 ◇11月2日～12月9日、カワセミ1羽、時間は午前6時～10時と様々だが、確かにカワセミが来ている。すっかり舞い上がってしまった。それにしてもこんなどぶ川に、可哀想すぎる(徳田潤子)。

坂戸市城山 ◇1月14日、トラツグミ1羽。1月17日、上空に輪を描いてオオタカ1羽、ルリビタキ♂が2ヶ所各1羽、陽光が当たってブルーの羽が美しく輝いた(増尾隆・節子)。

坂戸市西坂戸 ◇1月14日、自宅裏の公園上空でオオタカ1羽、カラスに追われながら低空飛翔(増尾隆)。

吉見町八丁湖 ◇1月15日、アカウソ♂1羽♀1羽。♂の胸が薄いピンク色だった。メジロ、キクイタダキ(7～8羽)、シジュウカラ、コゲラの混群。イカル1羽、シメ5羽、ルリビタキ数羽、シロハラ数羽、アカゲラ♀1羽。オオタカ1羽、3時間の内に3回出現。1度はツグミらしき鳥を襲ったが、取り逃がした。バン2羽(後藤康夫・喜久子)。

吉見町流川 ◇1月16日午後1時30分頃、県道と市野川の間のおぼでハイイロチュウヒ♀1羽、2m位の低空で約10分間飛翔(皆川紘一)。

越生町梅林公園 ◇1月20日、アカハラ、シメ、モズ(松田嶺)。

本庄市利根川坂東大橋下流 ◇1月24日、カワアイサ♂8羽♀21羽。草焼き跡地でアリスイ1羽、一瞬、赤い長い舌を出したのを見た(黒木昭男、増尾隆・節子)。

川本町農林公園 ◇1月24日、アオゲラ♀1羽、アカゲラ♀3羽、チョウゲンボウ1羽、カケス4羽(後藤康夫)。

JR高崎線本庄駅 ◇1月24日午後4時15分  
表紙の写真

頃、イソヒヨドリ♀1羽、電線からホームに降りてきた(榎本みち子、菜摘野)。

宮代町古利根川 ◇1月26日、オジロトウネン成鳥冬羽9羽(篠原東彦)。

入間市みどりの森 ◇2月6日午後3時30分頃、稲荷神社境内の桜の木にアカウソ♂♀各1羽、盛んに桜のつぼみをついばんでいた。首の赤い部分から胸にかけてうっすらと赤みを帯びていた。一緒に観察していた方2名の話によると4つがい来ているそう(山影昭三)。

川本町荒川明戸堰上流 ◇2月6日、コハクチョウ68羽、ホオジロガモ♀6羽、アカゲラ♂2羽、アオゲラ♂2羽、タヒバリ4羽、イカルチドリ6羽、アオジ2羽、ジョウビタキ♂2羽♀4羽(後藤康夫)。

東秩父村二本木峠 ◇ルリビタキ♂1羽♀3羽、♂は道端の枯れ葉をシロハラのように盛んにとぼして採餌したり、いきなり飛び上がって虫をつかまえたりしていた。ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、コゲラの混群(後藤康夫)。

川越市小畔川 ◇2月9日、タゲリ数羽。枯れた草の上をトコトコ歩いていた(塚原恵子)。

岩槻市岩槻文化公園周辺 ◇2月12日、シメ、アカハラ、シロハラ、アオジ、ジョウビタキ、カワラヒワ、キジバト、シジュウカラ、コゲラ、アカゲラ、カシラダカ、ウグイス、以上12種が、100m四方位の所で見ることができた。前日も同じ場所を探鳥したが、天気の変化が激しい一日だったせいか鳥の姿はほとんどなかった(大塚操)。



(五十嵐貴大)

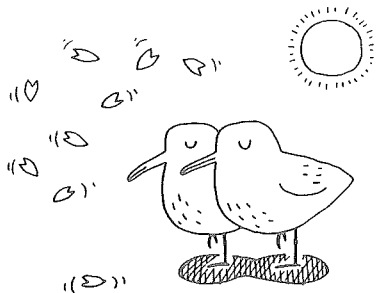
### ツルシギ(チドリ目シギ科)

昨年(2010年)の4月。茨城県出島村。  
真っ黒な君に会いたくて出かけたのですが、とうとう出会えませんでした。

会えたのは、まだ黒くなってない君だけです。今年こそはと思うこの頃です。

菱沼一充(板橋区)

# 行事あんない



(何森 要)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：4月4日（日）

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。  
交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前より北里メディカルセンター病院行きバスにて終点下車。徒歩1分。

担当：岡安、榎本、内藤、大坂、立岩、川那部、永野（安）、永野（京）、島田、高（尅）、高（文）、山田

見どころ：恒例のお花見探鳥会です。今月から北本駅西口より約15分間隔で北里病院までバスが運行！（片道180円）それで集合時間も午前9時に変更。鳥はいつものとおり出てくれますよ。

## 浦和市・民家園周辺定例探鳥会

期日：4月4日（日）

集合：午前9時、浦和市くらしの博物館民家園駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅西口バス1番乗り場より、大崎園芸植物園行き8:36発で念仏橋下車。

後援：浦和市くらしの博物館民家園

担当：伊藤、手塚、工藤、笠原、吉岡（洋）、若林、倉林、松堂、前澤

見どころ：今年も巡ってきました春の花の民家園。樹木の息吹を身体いっぱい感じながら、こちよいい日差しの中を、ゆっくりと歩きましょう。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：4月11日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。  
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乗車。

担当：和田、森本、中島（章）、石井（博）、倉崎、松本、中里、高橋

見どころ：4月の大麻生は何といってもニューナイスズメ！今年も会いに来て下さい。土手の桜をはじめ可愛らしい草花が咲いて、SLも力強い走りを楽しませてくれるでしょう。

## 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：4月18日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、浦和市立郷土博物館前。

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、手塚、伊藤、渡辺（周）、笠原、倉林、若林、岡部、兼元、森、清水、前澤

見どころ：桜が散って、青葉が見沼たんぼの斜面林に緑をもたらす。代用水にも、利根川からの水が江戸の時代から変わらずに流れ、田植えの時季を待っている。ツバメなどの夏鳥もやってきて子育ての季節を迎える。そんな巡る季節について、鳥たちを一つの指標として考えてみよう。

### 北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：4月18日（日）

集合：午前9時15分、東武日光線柳生駅前。  
または午前9時30分、中央エントランス駐車場。

交通：JR宇都宮線大宮8:19→栗橋8:53着、栗橋にて東武日光線乗り換え8:58発。または東武日光線新越谷8:20→春日部8:36→栗橋8:58→柳生9:08着。

担当：橋口、入山、内田、高（剋）、高（文）、田邊、玉井、中里

見どころ：渡りの季節。谷中湖の残りガモや、谷中村史跡の林の渡り途中の鳥たちを探します。昼食持参でお出かけください。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：4月24日（土） 1時～2時ころ

会場：支部事務局108号室

### 浦和市・秋ヶ瀬大久保農耕地探鳥会

期日：4月25日（日）

集合：午前8時、JR浦和駅西口バスロータリー、集合後バスで現地（やつしまニュータウン）へ。

担当：福井、楠見、伊藤、小林、倉林、笠原  
見どころ：年間を通して楽しめる探鳥地の一つに挙げられるのがここ。平坦な土地だが鳥種も多くバラエティーに富んでいて、ベテランから初心者まで楽しめます。

### 東松山市・物見山探鳥会

期日：4月25日（日）

集合：午前9時30分、物見山駐車場（峠を越えた右側）。

交通：東武東上線高坂駅西口より、東武バス鳩山ニュータウン行き8:58、9:08発にて「大東文化大学前」下車、徒歩約5分（バス進行方向へ峠を越えます）。

担当：内藤、榎本、岡安、藤掛、志村、立岩、後藤、吉田

見どころ：新緑豊かな市民の森のなだらかな山道を下ると、山間に農耕地が見えて

くる。のどかで気持ちがほっとする景色だ。そんなコースをゆっくりと歩き、カラ類や夏鳥、高く舞う猛禽類を探しましょう。

### 春日部市・内牧公園探鳥会

期日：4月25日（日）

集合：午前8時30分、東武伊勢崎線春日部駅西口東武1番バス停前、集合後バスで現地へ。8:45発にて高野台下車。または午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。

担当：吉安、中村（榮）、橋口、篠原（東）、入山、松永、宮下

見どころ：春日部の外れの内牧にも新緑がすがすがしい季節到来です。屋敷林や斜面林では渡りの途中の夏鳥を探し、そろそろ水の入り始めた田んぼではムナグロを期待しましょう。身近な鳥をじっくり見るのも楽しいですよ。

### 浦和市・秋ヶ瀬公園探鳥会

期日：4月28日（水）

集合：午前8時、JR浦和駅西口バスロータリー、集合後バスで現地へ。または8時45分、ピクニックの森駐車場。

担当：櫻庭、中村（榮）、藤掛、志村、海老原（教）、高（文）

見どころ：平日探鳥会本年第2弾！ 夏鳥のシーズンになりました。秋ヶ瀬の森は大切な渡りの中継地。オオルリ、キビタキ等が身近に見られます。ピクニックの森、子供の森と歩きます。

### 東京都・三宅島探鳥会（要予約）

期日：5月7日（金）夜行～9日（日）

集合：7日20時30分、JR山手線浜松町駅（東京駅寄り改札口前）。

帰着：東京港に9日20時30分ごろの予定。

費用：25,000円の予定（1泊3食、特2等往復船賃、保険料等）。万一過不足の場合は当日精算。島内でのバス代は別途各自負担。

定員：16名程度（先着順、支部会員優先）。



申込み：普通葉書で榎本秀和

まで。乗船名簿記入のため住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・喫煙の有無を必ず明記してください。

担当：榎本、長谷部、島田、倉林

見どころ：島と海と森の旅。今年もやっぱり行きたい憧れのバードアイランド。帰路の船上からの海鳥ウォッチングも楽しみです。行程はけっこうハード。

注意：7日は船中泊、8日の宿は男女別の相部屋です。個室のご用意はできません。

#### 長野県 白馬山麓探鳥会(要予約)

期日：5月8日(土)～9日(日)

集合：8日午前9時15分、JR長野駅善光寺口(西口)駅前広場。

交通：長野新幹線「あさま503号」(東京7:00→大宮7:26→熊谷7:40→高崎7:54→長野8:50)。または「あさま1号」(東京7:32→7:56→長野8:57)。

費用：10,000円の予定(1泊3食付き宿泊費、現地バス代、保険料他)。万一過不足の場合は当日精算。集合地までの往復交通費は各自負担。

定員：20名(先着順、支部会員優先)。

申込み：往復葉書に住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記して、小池一男まで。

担当：小池、藤掛、堀、永野

見どころ：初夏の白馬はオオルリ、クロツグミ、キビタキなど夏鳥のコーラスで賑やか。ギフチョウ2種、ミズバショウ、ザゼンソウ、カタクリ、ヒトリシズカなどなど。鳥、虫、花と大自然まるごとウォッチングツアーです。

注意：宿泊は男女別の相部屋です。個室のご用意はできません。

#### 神泉村 城峯公園周辺探鳥会(要予約)

期日：5月15日(土)～16日(日)

集合：15日午後1時30分、JR高崎線本庄駅前。

交通：東武バス、村営バスを利用します。詳

細は参加者に通知いたします。

解散：16日午後1時30分頃、JR本庄駅前。

費用：9,000円の予定(1泊2食付き宿泊費、懇親会費、保険料等)。万一過不足の場合は当日精算。集合地および現地までの往復交通費は各自負担。

定員：15名(先着順、支部会員優先)。

申込み：普通葉書に住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記して、橋口長和まで。

担当：橋口、浅見(徹)、入山、玉井

見どころ：昨年のバードソングチームの出発地。早朝渡り鳥達のコーラスのシャワーを期待します。後は何が出るか主催者にも判らないミステリー探鳥会です。

注意：村営コテージに宿泊、男女別の相部屋です。個室のご用意はできません。

#### 長野県 戸隠飯綱高原探鳥会(要予約)

期日：5月29日(土)～30日(日)

集合：29日午前9時10分、JR長野駅在来線改札口前(新幹線改札を出て右方向)

交通：5月8日の白馬山麓探鳥会と同じ長野新幹線。

費用：10,500円の予定(1泊3食、現地バス代、保険料など)。万一過不足の場合は当日精算。集合場所までの交通費は各自負担。

定員：30名(先着順、県支部会員優先)。

申込み：往復葉書に住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記して、菱沼一充まで。

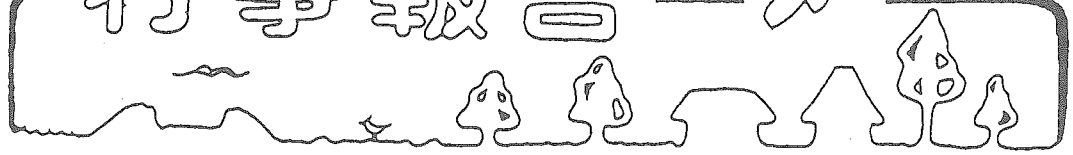
担当：菱沼、大坂、藤掛

見どころ：野鳥の宝庫戸隠。バードウォッチャーが一度は訪れてみたい探鳥地。圧巻は鳥たちのコーラス。オオジシギのディスプレイも見ごたえあり。夜は蕎麦と地酒が待っています。

注意：宿は男女別の相部屋です。個室のご用意はできません。

「行事案内」は5ページにもあります。

# 行事報告



10月4日(日) タカの渡り調査

ボランティア: 27人

浅見健一、浅見徹、石光章、海老原教子、海老原美夫、北村隆、工藤千代子、工藤久子、工藤亮輔、斉藤牧子、佐久間博文、塩原達郎、篠原東彦、島田恵司、島田沙織里、新堂克浩、杉原みつ江、中村博文、福井恒人、松井昭吾、村田多津子、森下英美子、森下翔、森下強、森下遙、森本國夫、和田康男 9月27日の天候不良でこの日に延期され、飯能市の天覧山、寄居町の鐘撞堂山、横瀬町の丸山、東松山市の物見山で調査が行われた。

1月24日(日) 狭山市 入間川

参加: 27人 天気: 小雨

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジロ トビ イカルチドリ イソシギ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ アカゲラ コゲラ ヒバリ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(46種)ここでは、ときどき現われるヒメアマツバメ。いつもは高い空に数羽といったところだが、今回は数十羽が低空飛行で大サービス。しかし、参加者の視線はカワセミの方に。とてもかわいらしい顔をしているので、機会があったらよく見てほしい。(長谷部謙二)

1月24日(日) 草加市 そうか公園

参加: 31人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ カルガモ コガモ ヒドリガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ キジバト ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムク

ドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(24種)草加で初の、そして超ビギナー向け探鳥会の参加者数は予想をはるかに超える31名。この日は、そうか公園で見られる代表的なカモ6種のぬり絵を用意した。ビギナーの方々に少しでも興味を持ってもらうためと、一つの鳥を良く見てもらうためだ。できたぬり絵は自分だけの図鑑になった。しかしこのぬり絵、ベテランでも見ないことには、なかなか描けないことも分った。(山部直喜)

1月30日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 22人

荒木恒夫、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、倉林宗太郎、後藤康夫、佐久間博文、佐藤千香子、佐藤正之、篠原東彦、島田恵司、島田沙織里、志村佐治、玉井正晴、納谷美月、原島浩、福井昭子、藤野富代、前澤明男、増尾隆、松村禎夫、山野庸子

1月30~31日(土~日) 宮城県 伊豆沼

参加: 25人 天気: 晴

カイツブリ ダイサギ コサギ アオサギ マガン ヒシクイ オオハクチョウ コハクチョウ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ホオジロガモ ミコアイサ カワアイサ トビ オジロワシ オオタカ ハイタカ ノスリ チュウヒ チョウゲンボウ キジ オオバン タゲリ ツルシギ タシギ ユリカモメ キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ エナガ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(53種)朝は目の前で8千羽のガンが一斉に飛び立ち、壮観だった。また、青空をバックに若鳥1羽成鳥2羽のオジロワシが頭上をソアリングしてくれ、全員大満足。夜の懇親会でも支部の持ち味である和やかな会が持たれて良かった。伊豆沼は

何度行ってもすばらしい。(中島康夫)

1月31日(日) 長瀬町 長瀬

参加: 55人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ  
オナガガモ トビ オオタカ コジュケイ イカ  
ルチドリ イソシギ キジバト ヤマセミ カワ  
セミ アカゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキ  
レイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モ  
ズ カワガラス ジョウビタキ ツグミ ウグイ  
ス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ  
カシラダカ アオジ カワラヒワ イカル シメ  
スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハ  
シブトガラス(40種) 河原に下りると、何とカワ  
ガラスが飛び出した! さらにヤマセミが2羽、  
それもじっくり見ることが出来た!! カワセミが  
同士のならみ合いもおもしろかった。という訳で  
4、5年お出ましのなかった2大スターに大満足  
の一日だった。(小池一男)

2月7日(日) 北本市 石戸宿

参加: 55人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ マガモ コガモ オオタカ  
ツミ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン  
キジバト カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲ  
ラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ  
モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイ  
ス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ  
カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ  
シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス(37種) ふれ合い橋を渡り終  
えた時、突然左手からツミが飛び出し、我々の目  
の前を横切った。高尾の森では、双眼鏡が使えない  
程の近距離からコゲラを観察。後頭部の赤い小  
斑をしっかりと観察した。八重塚の横の湿地では  
シロハラが我々の道案内をしてくれた。最後に学  
習センターの2階ロビーから見たベニマシコの群  
れの中の雄は鮮やかな紅色だった。(岡安征也)

2月7日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加: 45人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ  
ギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハ  
シビロガモ オオタカ キジ バン オオバン  
タシギ キジバト カワセミ アリスイ コゲラ  
ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバ

リ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウ  
グイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシ  
ラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シ  
メ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス  
ハシブトガラス(41種) 春のような暖かさで快適。  
探鳥会初参加の人が多かった。上沼の水鳥たち、  
アシ原のホオジロ類もゆっくり見ることができ、  
昨年秋より滞在中のアリスイが2羽も特別出演し  
た。出現鳥41種の大満足の探鳥会。(玉井正晴)

2月7日(日) 浦和市 民家園周辺

参加: 60人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ  
ギ カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガ  
モ ハシビロガモ キンクロハジロ ミコアイサ  
チョウゲンボウ バン オオバン イカルチドリ  
タゲリ イソシギ ユリカモメ セグロカモメ  
キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキ  
レイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ  
ツグミ ウグイス ツリスガラ メジロ ホオジ  
ロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラ  
ヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシ  
ブトガラス(41種) 2月の夕方とは思えない程暖  
かく、ミコアイサ、カイツブリまでもが日向ぼっ  
こ。たくさんの鳥が出たが、超目玉ツリスガラを  
見られたのは数人だったのが残念。「それにし  
てもコミミズク様。どうなさったのでしょうか。来  
年こそは期待しています。」(手塚正義)

2月11日(水、休) 上尾市 丸山公園

参加: 23人 天気: 曇

カイツブリ カワウ コサギ コガモ チョウゲ  
ンボウ コジュケイ キジバト カワセミ コゲ  
ラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロ  
セキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカ  
ハラ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ ヤ  
マガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシ  
ラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ム  
クドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシ  
ブトガラス(35種) 開始と終了はきれいなカワセ  
ミ。林の中では当地初認のエナガ。そして、コジ  
ュケイが約10羽我々の前を次々に低く飛んで通過。  
アシ原では、アオジ、カシラダカ、早々とベアを  
組んだモズ等に会う。天気予報に反し、まずまず  
の天候の中、少人数でゆっくり回れた。やはり早  
起きは三文の得。(浅見健一)

連 絡 申 長

●会費制度が変わります

当支部の海老原美夫副支部長も委員として議論に加わっていた、本部の「会費制度の改訂等に関する委員会」が、2年間の成果を答申書にまとめて、本年2月の理事会に提出、その内容は3月の評議員会でも報告されて、いよいよ新しい会費制度が、本年10月から始まることになりました。

新しい制度は、「各支部の多様性を尊重しながら、分かりやすく、入会しやすい会費制度」を目指しているものですが、すでに会員となっている私たちにとって直接の影響は、会員種別の名称が変わることと、500円程度の会費値上げになることです。それ以外、特に面倒な変更はありません。

詳しいことは『野鳥』誌3月・4月合併号などと共にお知らせが届きます。新会員種別のニックネームのアンケートも同封されますので、ご覧ください。

●本部評議員会とバードソン表彰式

3月6日(土)午後1時から、渋谷区内で今年度の評議員会議が開催されました。評議員制度も新しく改正されたばかりで、新制度による最初の会議でした。関東ブロック選出評議員の1人として、当支部の海老原副支部長も出席しました。

会議終了後の懇親会の席で開催された昨年のバードソンの表彰式では、橋口長和幹事が「リブランしらこぼと・彩の里山探見隊=募金部門2位」の表彰状を授与されました。

●今年のバードソンはお休みです

昨年のバードソンは、昨年9月末日最終締切で総額10,111,920円の募金をいただき、里山の自然と野鳥を守るための調査研究・情報ネットワーク作り・シンポジウム開催などに役立てられました。ご協力ありがとうございました。

一方、次のバードソン開催について参加チームのアンケート調査結果などを踏まえて検討した結果、年々募金達成額が減ってきてい

ることや、本部の事務局体制の見直しが必要であることなどから、1999年度のバードソンは行われなくなりました。

●リーダー名簿を整理しました

普及部(榎本秀和部長)が支部の全リーダー対象にアンケート調査を実施し、その結果に基づいてリーダー名簿を整理し直しました。それまではリーダー研修会受講者はすべて登録していたものですから、昨年9月現在で143名を数えましたが、整理し直した本年3月現在で、123名となりました。

それでも123名! それだけ多くの人たちが、支部のために積極的な助力を申し出てくださっているということです。

●4月の事務局 土曜と日曜の予定

- 3日(土)普及部会議。
- 10日(土)編集会議、研究部会議。
- 17日(土)校正作業。
- 18日(日)役員会議。
- 24日(土)袋づめの会。

●会員数は

3月1日現在3,074人です。

活 動 報 告

- 2月14日(日)会員の普及活動-西浦和公民館・地域を語る会で、陶山和良会員(浦和市)が、「野鳥たちから学ぶ」を講演。
- 2月20日(土)3月号校正(海老原美夫)。
- 2月21日(日)役員会議(司会・浅見健一、各部の報告・8月までの行事予定など)。
- 3月1日(月)3月号を郵便局から発送(倉林宗太郎、藤掛保司)。

編 集 後 記

本誌1997年10月号でご紹介した、チョウゲンボウの繁殖を長年観察してきた新三郷駅周辺の操作場跡地。巣穴があった跨線橋の一本が、撤去されてしまった。まだその付近を飛び回っている彼らの行く末を考えながら、編集会議に向かったのです。(山部)

『しらこぼと』1999年4月号(第180号) 定価100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.or.jp/ro/wbsj-saitm/>

住所変更・退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台1-47-1 小田急西新宿ビル1階  
(財)日本野鳥の会会員センター業務室 TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事は上記ホームページに転載されることがあります。  
本誌から、またはホームページからの無断転載は、かたくお断わりします) 再生紙使用